健康管理の「目的」と「介入のメソドロジー」は異なる

— DOHAT 有識者会議（2026年3月27日）にて—

✗ ありがちな誤解：健康管理の中でしか考えない

現場の異変（シグナル）
疲労度↑　パフォーマンス低下　離職リスク↑　メンタル不調

↓

介入：健康管理だけ
受診勧奨／休養／面談／メンタル相談
（症状にだけ手を当てる）

↓

✗ 根本原因が残る → 解決しない
症状は再発し、対応労働者の離脱が続く

✓ DOHATの介入：3管理 を 一体的 に運用する

現場の異変（シグナル）
疲労度↑　パフォーマンス低下　離職リスク↑　メンタル不調

健康悪化は「組織運営の課題」のシグナルとして読む

作業環境管理 *Work Environment*	作業管理 *Work Management*	健康管理 *Health Management*
休憩・宿泊・食事 安全衛生体制 生活基盤の確保	指揮統制の整備 勤務時間・役割分担 過重労働の是正	J-SPEED健康チェック 受診勧奨・休養確保 メンタルヘルス支援

↓

✓ 3管理を一体運用 → 真の健康確保 → 復旧・復興の継続

KEY MESSAGE　健康管理の「目的」は健康管理。だが「介入のメソドロジー」は作業管理・作業環境管理にある。健康指標の悪化は組織運営の課題のシグナルである。

対応労働者の健康確保 は 復旧・復興 の基盤である

— 「被災地の支援であり復興」を最初に書く立て付けへ —



復旧・復興の継続 — *Disaster Recovery*

対応労働者の継続的稼働 ／ 二次被害の最小化 — *Sustained Workforce*

対応労働者の健康確保（疲労低下／パフォーマンス維持／離職防止） — *Health of Responders*

3管理 一体的運用 ＝ 作業環境管理 ＋ 作業管理 ＋ 健康管理 — *DOHAT Intervention*

DOHAT（事業場外資源） × 自治体・事業場 産業保健スタッフ（4つのケア） — *Foundation*

KEY MESSAGE DOHATの活動目的は「被災地の復旧・復興」。対応労働者の健康確保は、その不可欠の基盤・手段として位置づける。